

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|-------------|---|---|
| 事故等番号 | 2010神第237号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成22年9月21日 07時45分ごろ | |
| 発生場所 | 和歌山県由良町由良港 紀伊由良港ムロノキ鼻灯標から真方位048° 1.2海里付近 (概位 北緯33° 57.8′ 東経135° 06.4′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成22年11月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 | 貨物船 第十八 ^{くにとも} 邦友丸、460トン | |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 135510、邦友汽船有限会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、三級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 推進器翼に曲損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首約1.4m、船尾約3.3mの喫水で、由良港において積荷のために着岸作業中、平成22年9月21日07時45分ごろ、浅所に乗り揚げた。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 北東、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし あり 本船は、由良港において着岸作業中、岸壁近くに浅所があることを知っていたが、潮流に圧流されたことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、由良港において着岸作業中、潮流に圧流されたため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 | |